

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎年年度初めに法人の理念に基づいた施設内研修を行い、理念に基づいた支援が実践できるようにしている。	法人の基本理念「愛と希望」をもとに基本運営方針を定め、理念に関する職員研修を実施するとともに、職員とともに年度のユニット目標を検討し振り返りの機会を設け、理念を実践できるように努めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で行われている認知症カフェにスタッフとして参加し、ボランティアフェスティバルには作品等を出展している。新発田祭の民謡流しにも社会福祉協議会に含んでいただき一緒に踊る等行い、地域交流を持っている。	近隣のこども園の園児とは、ホームの畑でさつまいもの苗植えや収穫を手伝ってくれたり、運動会の見学に出かけるなどの交流が行われています。また、大学生のボランティアの受け入れやボランティアフェスティバルにご利用者の作品を出展したり、地域のボランティアの方にも定期的に来て頂くなどして地域との交流に努めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	7月から訪問介護事業を立ち上げ、認知症専門のスタッフが在宅で困っている方たちの支援が行えるように体制を整えている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回、民生委員。ご利用者様・ご家族様代表・敬和学園大学学長・包括支援センターの介護支援専門員の皆様に参加していただき、ご意見・ご感想をいただいている。	2ヶ月に1度、包括支援センター職員、敬和学園大学学長、民生委員、ご家族代表、ご利用者代表に参加してもらい、ご利用者の状況報告、ホームでの活動報告などを行い、意見交換をし、ホームの運営に繋げています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	課題や、困難な問題等常に連絡させていただき、相談しご指導いただきながら、運営させていただいている。	市の職員には運営推進会議にも参加いただいているほか、必要に応じて運営の相談に乗ってもらったり、地域ケア会議にも参加しグループ討議にも参加するなど、連携をとりながら運営を行っています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内研修を行い、「身体拘束」とはをスタッフが理解し、リーダー中心に検討しながら取り組んでいる。	玄関の施錠も夜間帯のみとするなど、身体拘束を行わない方針で運営しており、職員の理解を深める為の職員会議での周知も行いました。状況によってやむ得なく身体拘束をする場合にもご家族に説明・同意を必ず行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修で「高齢者の虐待」を学びスタッフ共通認識して日々のケアに取り組んでいる。	職員会議でも職員の言葉遣いや態度に関して周知徹底を行い、虐待の防止についての職員の理解を深めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度については研修で学んでおり、必要な方がいるときは関係者と相談していくことができるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際に詳細に説明させていただき、疑問点等あればいつでも聞けるように説明させていただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年度初めに家族会を行ってご意見を伺えるようにしている。又スタッフがその都度相談を受けており、リーダーへその後管理者へ上がってくる。その都度ご家族には説明させていただき、運営に反映できることは行っていくようにしている。	日常の面会時や電話でのご家族とのやりとりにて要望の確認をしているほか、ご家族代表には運営推進会議にも参加していただいています。また、家族会も実施し、ご家族からの率直な意見も確認できる機会も設けています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議で、意見等が出た内容をリーダーが職員会議に提言して話し合い、改善等に努めている。	日常のやりとりや毎月のユニット会議で職員の意見や要望の確認を行っています。また、管理者は年に1度は職員と個別面談も行なうなど、職員の意見を確認できるようにしています。	職員会議の議事録を確認していない職員もいましたので、ルールを検討し、職員がしっかりと情報を共有できるようにされることを期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1~2回管理者との面談の機会を設け、向上心を持って働けるように環境・条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフの力量やケアの仕方についてリーダーと検討しながら、必要な研修に参加できる様にしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所同市のつながりを深くもてるように、交流する機会があれば参加できるようにしている。RUN伴に参加し他事業所や市役所と協力し達成できた。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にリーダー及び計画作成担当者ご自宅へ伺い、自宅の状況確認を実施し、その後職員へ情報伝達と報告を行い、受け入れ態勢を整えるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前面談で、ご家族の意向をお伺いし、持ち帰り、スタッフと相談し計画を立てている。可能な限りご家族の意向をくみながら、ご利用者様の為になることを優先している。又入居する日までの相談はさせて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居当初からのサービス計画を立てるが、生活の様子を観察し、サービス以外でも必要であれば再度検討しサービス提供できるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭でしていたであろう家事等を可能な範囲で行えるようにしている。スタッフは家族という気持ちを持ちながら勤務し、行事等は一緒に楽しみながら過ごしている。		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	衣替えや家族会、受診時や一時帰宅等で交流の機会を作っていた。面会時や毎月の近況報告で様子をお伝えし、必要時は相談しながら物事を進めている。	年に2回事業所広報を作成しご家族に送付したり、毎月日頃の活動の様子や状態をまとめたお手紙をお送りするなど、ご家族とも情報が共有できるよう努めています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの美容室等に行けるようにしたり、知人や友人・ご家族の面会時にはゆっくりと過ごしていただける様に穏やかな雰囲気づくりを心がけている。	ご家族の協力も得て買い物支援や外食支援、行きつけの理美容室への利用支援なども行って頂いています。また、知人や親族の方に面会に来て頂いたり、お盆やお正月に自宅に帰られたり、お孫さんの結婚式に参加される方もいるなど、これまでの関係が継続できるよう支援しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	暮らしの中心となるホールでは相性や、会話好きな方等聞くことが苦にならない方等配慮したお席で過ごせるように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後でも、ご家族様からご連絡があり、必要であれば行える支援はさせて頂いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、昔の事や今何がしたいのかを些細な会話から読み取り情報収集し、本人の気持ちを引き出せるようなケアを行うようにしている。	日々のご利用者とのやりとりにて要望を確認し、その都度対応するように心がけています。また、サービス担当者会議にはご利用者、ご家族にも参加して頂き意向の把握に努めています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のフェースシートと合わせて、入居後に話された内容を組み合わせながらその方のなじみの暮らし方や生活環境を把握するように努め、スタッフは会議等で情報共有できるようにしている。	入居の際にご利用者、ご家族等から確認した情報をもとに、これまでの生活の情報をフェイスシートにまとめています。また、定期的にフェイスシートの見直しも行い、日々の生活の中で得られた情報も追加しています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常的に本人のできる事は行っていただき、その日の体調や歩行状態など観察し、その日の状態に合わせたケアを行えるように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日頃よりご利用者様とコミュニケーションをとりながら、日常生活場面で気になる事柄をスタッフ同士で話し合い、意見やアイデアを出している。又家族へはリーダーと話し合いを行い相談しながら計画を作成している。	ユニット会議にてご利用者の状態を確認し、モニタリングも毎月実施しています。また、サービス担当者会議も行い、ご利用者、ご家族とともに介護計画の見直しを行っています。	ご利用者の実態に合わせた介護計画の見直しをされることを期待します。また、介護計画の日付等の記載に誤りがある箇所もありましたので、ミスが無いように改善されることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録を行っている。月1回のユニット会議で、ケアや気づきを共有し、情報共有しながら、ケアを見直ししている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様とコミュニケーションをとり、何を欲しているのか、情報を得たり、ご家族来園時どうあってほしいかの要望を聞き、家族の意向を汲み取るようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	協力医院や薬局、訪問看護に来ていただいている。日常の些細な時間に大型スーパーや、認知症に理解のある美容室などを利用し、買い物を楽しんだりして気分転換・楽しい時間をもてるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	できるだけ入居以前から主治医であるかかりつけ医に受診していただくようにしている。付き添い等不可能であれば、協力医に変更していただき医療を受けられるようにしている。	今年度より医師、訪問看護、薬局と医療連携体制を構築しました。ご利用者・ご家族の希望に合わせた医療機関にて受診しています。基本的に受診支援はご家族にお願いしており、必要に応じてホームからも医師へ情報提供を行っています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々のケアで気づいた事や情報は週1回の訪問看護に伝え、必要時は医師や薬剤師にも相談しながら支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	スタッフが小まめにお見舞い訪問し、病院の看護師に状態を聞き、早期に退院できるように医療連携室に相談しながら進めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態が今後変化していくであろうご利用者様のご家族には連絡をしながら、状況を伝えている。医療連携が行えているので、時には看護師や医師とも相談しながら進めるようにしている。	契約時にホームとしての重度化対応や終末期ケアの対応に関する指針を作成し、ご家族に説明・同意が得られています。ご利用者の状態に合わせてご家族との検討の機会も持つなど、ホームで出来る支援は行っていきたいと考えています。	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時はすぐ対応していけるように個々のケースファイルに挟めている。又救急車を要請した時には、ご利用者様の情報がわかるようにフェースシートを作成し救急隊に渡せるようにしている。	消防署員に来て頂きAEDの使用講習を行ったり、職員会議でも誤嚥・誤飲・骨折時の応急手当方法について確認する場を持つなど、職員が適切な初期対応ができるよう支援しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時は隣接の敬和学園大学に避難できるようになっており、津波の場合や火事・地震で建物崩壊時も敬和学園大学に避難できるようになっている。	年2回、ホームにて夜間の火災を想定し避難訓練を実施しています。また、非常用の食品や水も確保しており、災害時に対応できるように、緊急連絡網を使用した訓練もしています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様方の歩んできた、様々な経歴を理解した上で、年長者である皆様を敬い一人の尊厳を守った言葉かけ、対応をしている。	職員会議でも職員の言葉遣いや態度に関して周知徹底を行い、ご利用者の尊厳を大切にしたいケアに努めています。また、契約時にはご利用者の写真の広報の掲載についても同意が得られています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段からスタッフに気兼ねなくご自身の希望を表出しやすい様に信頼関係を築いている。認知症の為にご自身の希望をうまく表現できない方には、本位の内容を提案し、選んでいただくようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様がその日・その時したい事を尊重し、出来る限り希望されるように支援している。時には見守りする職員の手が足りない時や体調が思わしくないときなどは優先できない時もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時に好みの服を選んでいただいている。頭髪を整えたりするときもできる場所は行っていただいている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1日の献立が決まっており、ご利用者様の好みには合わせられていない。毎月ではないが、行事の際には、好みに合わせたメニューを提供するように心がけている。	ご利用者の状態に応じて食事の準備や片付けなども手伝ってもらっています。ホームには畑もあり、ご利用者にも野菜の収穫を手伝ってもらっています。ホームで流しそうめんを行ったり、外食にも出かけるなどし、ご利用者に食事を楽しんでもらっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主食を残す方には味を付けて提供したり、副食が固めであれば、柔らかくしたり、細かくして提供することで、食事量は確保できている。水分を取ろうとされない方には、好きな飲みものを提供することで、水分を確保できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご利用者様の力に応じ、出来ないところを介助したり、促す等して支援している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	1人1人の排泄パターンを理解してその方に合わせた排泄介助を行えるようにユニット会議で相談し実践している。	ホームに入居されて最初の2週間は排泄チェックを行いご利用者の排泄パターンを把握し、一人ひとりに合わせたトイレ誘導や声かけを行い、気持ちよく排泄できるよう支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便が出にくい人を特に集中的に確認し、毎日の排便リズムが一定になるようにパットを確認したり、ご本人からお聞きしている。聞くときには不快な思いをする方も中にはいられるので、言いやすい雰囲気を作るように心がけている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴したいときに入れるように対応している。人数不足で待っていただくときは可能な時間をお伝えして待っていただくときもある。	入浴はご利用者の希望に応じて支援しています。季節に合わせたゆず湯や菖蒲湯を実施したり、ご利用者の要望に合わせて同性介助での支援も行い、ご利用者に入浴を楽しんで頂けるように努めています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の掃除や整理をし、気温も調節し、眠りやすい環境を整えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	便秘になりやすい、血圧が高い等様々な症状に対し薬表を確認し、効果・副作用等スタッフ同士確認している。時には薬剤師に相談していくこともある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌が好きな方には歌詞カードを作り一緒に歌ったりしている。中庭へ出て花を摘んだり、畑の野菜を収穫したり、得意な縫物をして頂いたりその方の力を活かせるようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物・美容院への希望があり、気持ちに添えるような外出をしている。地域のイベントにも参加し、そこでしか味わえない物や風景を見ていただくように心がけている。	ご利用者にホームでの生活をより楽しんでもらえるよう、ご家族の協力も得て買い物支援や外食支援、行きつけの理美容室への利用支援なども行って頂いています。また、担当職員と一緒に買い物やドライブにも出かけるなどの支援を行っています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全員がお金を所持しているわけではないが、力に応じ買い物等で使っている。財布を持ち安心感が大きいという方もおられるので、手元のお金は家族と相談している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話で身内の方へ連絡しておられる方へのかかわりはかけ方がわからなくなった時に声をかけてくれるので一緒に行っている。はがきを作成するときも見守りながら出せるようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関の壁には最近の様子を写真とコメントでわかりやすく目でくつろげるようにしてあり、ホールや廊下には作品を貼り、あたたかい雰囲気を作っている。ソファを置き談笑できるスペースを作っているの、自分に合う場所へ移動して過ごしている。	フロアにはソファやピアノが置かれており、ご利用者同士がテレビを見ながらゆったりと過ごせるようにされています。共有スペースからは、ホームの中庭もよく見え、畑の野菜や季節の草花を見渡すことができます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方と過ごす食席の方にソファを設け、1人で過ごしたり、仲間で過ごしたりしている。テラス前は外が良く見える為、気分転換にもなっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	好みのベッドカバーであったり、写真(孫)を飾っている方も多し。小さなお仏壇ももって来られ、大切な方に手を合わせておられる。タンス等使い慣れたものをご家族が運んでくれる。	ご利用者・ご家族とも相談し、仏壇やタンス等の家具やご家族の写真など、使い慣れた物、好みの物を持参し、居心地良く過ごせるように支援しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その方の力に応じ、動きやすい位置・距離を考え、席を設けている。歩行の妨げにならない様、床・足元・テーブルの位置等状態に合わせて考えている。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				